

作新学院高等学校同窓会報

発行 作新学院同窓会 〒321-0027 宇都宮市埜田1-3-27 船田教育会館内 TEL 028-621-9083 FAX 621-3941



おとなの作新祭にて伝統演技『エッサッサ』を披露する同窓会青年部。



同窓生の皆様へ

一校一家

会長 安藤 寛樹
(昭和45年卒)

「一校一家」この言葉は自分の心の中に今でも残っている言葉です。

作新学院高等学校同窓会の皆様こんにちは。日頃同窓会活動にご協力頂きありがとうございます。

昨年の同窓会活動を振り返りますと多くの事業をさせていただきました、春には国会見学、夏には甲子園球場に3年連続出場の硬式野球部の応援にバスを仕立てて行ってきました。見事3年連続出場という、県下で初めての偉業を打ち立ててくれました。

また学院祭においては同窓会ブースを設け行列ができるほどの賑わいを見せてくれました。11月には4回目となるホームカミングデー“大人の作新祭”を行い大勢の参加者のもと大変盛況でした。特に今年は学院

に無理をお願いしてアルコールの提供もでき、卒業生の方々に商品の提供などご協力頂き、大いに盛り上がった大人の作新祭となりました。実行部隊となった青年部・教員の方々には感謝申し上げます。

昨年は新規に現役の部活動の支援が出来ればと“OB・OG会”を立ち上げることができ、また同窓生同士の交流の場“異業種交流会”も発足いたしました。

同じ正門をくぐった仲間が、一校一家の精神のもと、助け合いながら情報交換をし、研鑽出来る同窓会になれば良いと思っていますので、皆様のご協力をお願いいたします。

最後になりますが皆様方の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



クールジャパンの真髄

作新学院 院長 船田 元

作新学院高校同窓会の皆様、お元気でお過ごしのことと存じます。安藤会長のもと、同窓会の皆様には活発な活動を続けておられ、心強く感じております。特に最近ではホームカミングデイとも言える「大人の作新祭」が、会を重ねる毎に参加者も増え、賑やかになって来ました。同窓会若手の皆さんの企画力に敬意を表します。また部活動のOB・OG会を同窓会の中に組み入れていただき、より強固な絆が築かれることを期待しています。

さて、今から10年前になるでしょうか、イラク戦争が終結したのち、日本の自衛隊が人道復興支援のために、サマーワに派遣されていたときの話です。現地では海外からの部隊に対して、住民の感情はあまり芳しくなく、自衛隊もご他聞に漏れず、隊員は苦勞していました。ところがある隊員の発案で、かつて日本で流行ったアニメ『キャプテン翼』の主人公の顔を装甲車の窓に付けたところ、子どもたちのみならず、大人までも、笑顔を返してくれるようになったそうです。

当時のイラクでは、『キャプテン翼』のアニメがテレビで放映され、サッカー好きの国民に、とても親しまれていたようです。派遣隊員の努力が背景にあったことは言うまでもありませんが、日本のアニメ、漫画の力がこれほど強いのかと、感心したことを覚えています。これに止まらず、アジア地域における『ドラえもん』や『ポケモン』の人気は凄まじく、先日もマレーシアからのニュースに写っていた子どもが、ピカチュウ人形をしっかりと抱いていたのを発見しました。

海外でのニッポン人気を支えるのはアニメだけではありません。世界各国で日本料理や日本食が静かなブームを起こしています。寿司や刺身に限らず、食材の風味を活かしたヘルシーな料理に、多くの外国人が興味を抱いています。気を付けなければいけないのは、いわゆる「日式」と言われるエセ日本食が横行していることです。間違ったイメージを与えないためにも、日本食の統一基準を早急に作り、普及させなければなりません。

さらに最近では、意外な日本スタイルが静かな

ブームを起こしています。中国・上海では日本の「スーパー銭湯」がお店を出して、大繁盛のようです。中国では湯船にゆっくり浸かる習慣がなく、シャワーで済ませます。中国のやや濁ったお湯ではなく、透き通って底が見える湯船に、皆喜んで入るようです。また日本の中堅以上の病院ならどこでもやっている集団検診も海外では珍しく、岐阜のある病院が検診車ごとチベットに持ち込んで、職場の集団検診を実施していると言うことです。個人データは日本に送られ、専門医が分析するといった、新しいビジネスモデルが注目されています。

日本の文化や生活様式を海外に輸出する「クールジャパン」の試みは、いままで例示したものに限らず、実に多種多様です。私たちはもっともっと身近な文化や生活スタイルにも目を向け、海外に通用するものを再発見すべきです。ただその際、私たちが気を付けるべき点がいくつかあります。

それはまず、日本のやり方が全てよくて、それを学びなさいという態度は慎むべきだということです。歴史が示すように、文化の押し付けは決して成功しませんし、長続きしません。謙虚な態度で日本の良さをアピールし、「よかったら試してみませんか？」と言うくらいが丁度良いのかも知れません。

次は文化の質を考えるべきということです。先ほどエセ日本食のことに触れましたが、質の悪いものでは却ってマイナスイメージを与えてしまいます。日本人にとっても「本物」をきちんと紹介すべきです。私も古い世代になりかかっていますが、最近の「メイド喫茶」の延長や一部の「ポップカルチャー」には、なかなかついていけません。これらが海外で人気があるのは理解しますが、果たして「本物」の文化なのかどうかは、意見の分かれるところではないでしょうか。

私たちが「大したものではない」と思っていたものが、実は外に出したら大人気だということがあるかもしれません。「クールジャパン」とは、何を隠そう、私たちの周囲の文化を再発見する試みに相違ありません。皆さんも是非ご自分の周囲を回して、新たな発見をしてみてもは如何ですか。

学院近景





“勢い”のある作新学院

高等学校 校長 長谷川 勝比古

同窓会の皆様には、母校作新学院の教育に、深いご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。また、役員の皆様のご努力によりまして、「おとなの作新祭」「新成人祝賀会」をはじめ、様々な同窓会活動は、これまでも増して活発になりました。心から御礼申し上げます。

私は、作新学院は今、県内のどの高等学校より“勢い”があると思っています。昨年度の卒業生の進路実績は、前年には及ばなかったものの、大阪大・東北大・北海道大を含む国公立大学に67名、私立大学に807名が合格しました。とりわけ宇都宮大学に16名、慶應・早稲田・上智などMARCHレベル以上の難関私大に58名、医歯薬系大学に30名を超える合格者が出たことは、特筆に値します。また不況にもかかわらず、就職率も100%を達成することが出来ました。生徒のたゆまぬ努力と、熱意ある教員の組織としての指導力を、大いに讃えたいと思います。

SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の活動も3年目を迎えました。生徒たちは、宇都宮大学でのテーマ研究・日光戦場ヶ原での自然探究活動・外国の高校生との科学交流などに、意欲的に取り組んで成果を上げています。文科省の「SSH事業中間評価に関するヒアリング」でも、本校は高い評価を受け、12月には、市の文化会館に全国からお客様をお迎えして「SSH生徒研究発表会」を実施しました。こうしたSSH関連の学習活動を通して、生徒たちは着実に成長しています。近

い将来、科学技術系分野で国際的に活躍する人材が巣立つことも決して夢ではありません。

また、被災地でのボランティア活動をはじめとする様々なプログラムや学校行事は、生徒の「人間力」を育み、偏差値偏重ではない本校の教育は、世間からも高く評価されています。

部活動は今年も、他校に類を見ない見事な成績でした。関東大会に26部254名が出場し、インターハイに16部119名が、夏の全国大会には7部66名が、国体には14部33名が出場しました。しかも、全国優勝・日本一は、8名に及んでいます。3年連続夏の甲子園出場を果たした硬式野球部の大活躍は、皆様ご承知の通りでございます。また今年も、書道部・美術部をはじめ文化部の成果にも目を瞠るものがありました。これらは偏に、同窓会の皆様のご温かいご支援の賜物であり、感謝の気持ちを新たにす次第でございます。

作新学院は、その歴史と伝統、教育環境、生徒の質、何より実績が他校とは違います。そして、本校には今、確かな“勢い”があります。私ども教職員は、創立以来脈々と受け継がれてきた「作新民」の精神で、今後も生徒指導に取り組んでいく所存でございますが、更なる飛躍のためには、作新学院に関わるすべての皆様との強固な信頼関係が不可欠でございます。特に同窓会の皆様には、今後とも格別のご理解とご協力を賜りますよう、改めまして心からお願い申し上げます。

学院近景





作新学院高等学校同窓会 平成25年度定時総会

平成25年6月7日(金)宇都宮市内のアピアに於いて、船田元学院長、長谷川勝比古校長など多くの来賓をお迎えし、同窓会会員70名が参加して開催されました。



総会では、三村副会長(昭和35年卒)の開会の挨拶で幕を開け、学院歌を全員で斉唱。次に、安藤会長(昭和45年卒)が、「青年部の活躍で大人の作新祭が大成功のお礼と、若手同窓生を集め同窓会活動に力を入れると抱負を述べました。続いて来賓を代表して船田元作新学院長が挨拶。一の沢キャンパスにおいて創立130周年記念プロジェクトでドリームキャンパスプロジェクトを進めていると報告がありました。この後、本澤崇(平成2年卒)、山形哲也(平成10年卒)を議長団に選出し議事に入りました。

- 第1号議案 平成24年度事業報告並びに決算について
平成24年度基本特別会計報告について
- 第2号議案 平成24年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
- 第3号議案 同窓会基金取り崩しについて
- 第4号議案 その他

第1号議案から第4号議案まで慎重審議が行われ、それぞれ原案通り選任されました。最後に福田副会長(昭和31卒)の閉会の言葉で定時総会が終了しました。

本年度は新企画で定時総会終了後、特別講和として宇都宮ブリッツェンゼネラルマネージャー廣瀬佳正氏(作新学院卒業生)が登壇し、地域密着型自転車ロードレースチームについて熱く語られました。

懇親会では、長谷川勝比古校長より昨年度の進路状況などを中心としたご挨拶を頂きました。その後、乾杯の音頭の後、久しぶりに会った先生や旧友との和やかな歓談に入りました。もちろん毎年恒例となっている鈴木勲幹事長(昭和38年卒)率いるハワイアンバンドの演奏で大いに盛り上がりました。



(広報部 渡辺幸雄(平成4年卒))

学院近景



(総合建設業)
 **株式会社 新生工業**
 代表取締役 **櫻井 英治**(昭和57年卒)
 宇都宮市徳次郎町46 ☎028-665-1502

藤田勝春法律事務所
 弁護士 **藤田 勝春**(昭和35年卒)
 宇都宮市清住3-1-14 ☎028-625-3266



広報部会長 渡邊 幸雄 (平成4年卒)

落ち葉が風に舞う頃となった、平成25年11月16日(土)、同窓会と学院合同の「第4回おとなの作新祭 ～集え！日本最大の同窓会～」が作新学院聴蛙館において盛大に挙行されました。今年のオープニングDVDは作新学院の歴史を映像と音楽を交えながら共有することができました。DVD終了後、開会式が行われ、船田元学院長、長谷川勝比古高等学校校長のご出席を賜り、お祝いのご挨拶を頂きました。

第一部編

第一部では「ねぎらい」と題して、本年度活躍した各部の現役部員の皆様をお招きし、写真部の生徒の皆さんが、各部活動の活躍を追いかけ、撮り続けた迫力あるDVD作品を視聴しました。最後に、活躍した選手に花束を贈呈し、ひとことコメントを頂きました。

第二部懇親会編

司会は栃木テレビや各局のラジオパーソナリティーとして活躍しているOBの「DJ Kei」さんこと菊池元男(昭和59年卒)さんの、スムーズな進行で盛り上が

りました。懇親会の乾杯の発声は10年会を代表して情報科学部教諭杉田佑輔さん(平成15年卒)の音頭でスタートしました。今年のイベントは、フルートとギターによる実の兄妹ユニット「ねこカフェ」による演奏会と、県内外で活躍する「Lady Go!!」が登場！。卒業生である鈴木日和子さん(平成18年卒)をリーダーとするアイドルユニットで、テレビ・ラジオ・ネット・ライブなどで活動。また、社会貢献活動としても東日本大震災の被災地へ訪問や・ミニライブで活躍中。在学中、チアリーディング部SHARKSに在籍、キレイのあるダンスと歌唱力抜群の歌で会場はさらに盛り上がりました。最後に、今回のおとなの作新祭を一から作り上げた同窓会青年部による作新学院伝統の「エッサッサ」で幕を閉じました。

今年も、大勢の同窓生とその家族に出席していただき心から感謝しています。また、「第4回おとなの作新祭」を6か月以上かけて段取りしていただいた同窓会青年部の皆様に敬意を表したいと思います。

作新学院高等学校同窓会では、「facebook」(フェイスブック、現在600名を超えるお友達)を運用しております。同窓会の活動や学校の行事、またその他このFBをぜひ有効活用いただければ幸いです。

今すぐご登録を！♪



<http://www.facebook.com/ogob.sakushin>

イマイズミ(宝石・貴金属)

<http://www.imaizumi-j.com/>

代表取締役 今泉 臣夫 (昭和37年卒)

宇都宮市仲町1-13 ☎028-622-3573

株式会社

Reco 企画装飾

代表取締役会長 関 正三 (昭和24年卒)

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38-32

TEL 028-662-6551(代) FAX 028-663-3579

うつのみや 野菜タップリ! グルメも納得!
名物 **新三の薄皮餃子**

『割烹弁当』の新三

代表取締役 鈴木 郁夫 (昭和24年卒)

宇都宮市今泉3-12-30 ☎028-622-8337

株式会社 **鱒淵建設**

代表取締役 鱒淵 孝男

建築部 小牧 英夫 (昭和56年卒)

宇都宮市中央3-15-13 ☎028-633-3261

E-mail: masu3261@snow.ucatv.ne.jp/

文化厚生部



東京国会議事堂 見学研修旅行

平成25年4月27日(土)文化厚生部主催により、国会議事堂見学研修旅行を行いました。今回は船田元学院長が国政に戻られたこともあり「国会議事堂見学」とし勉強となる研修会を開催することができました。

当日は、参加者21名が作新学院に朝7時に集合。バス1台で一路国会議事堂へ向かいました。約3時間バスの旅を楽しんだ後はいよいよ国会議事堂に到着。手荷物検査を済ませ係員の案内で中へ。美術館と言っても過言ではないこの建物。美しいみかげ石、ブロンズ製の扉、中央広間は議事堂で一番高い中央塔の真下であり2階から6階までの吹き抜けになっていました。議事堂内の赤いじゅうたんが敷かれた廊下を歩いている時、政治家になった気分になったのは私だけではないかもしれません。今までテレビを通して見ていた世界を目の前にして、感嘆のため息が漏れる中、約1時間の見学を終えました。議事堂見学後は外に出て国会議事堂をバックに船田元学院長と一緒に記念撮影をしました。

国会議事堂見学後は、浅草での昼食をはさみ、一路鉄道博物館へ。入館には鉄道の博物館らしく「Suica」を利用して、自動改札機にタッチして入場。この入場の仕方でもワクワクしました。中にはいるとスケール

の大きさに一同びっくり。メインである1階の広いスペース「ヒストリーゾーン」には、明治時代初期から現代まで日本中を走って来た実物の鉄道車両が36両も集合。これはまさに往年のオールスター勢ぞろいです！約1時間30分見学の後は、宇都宮に向けて帰路につきました。

今回はゴールデンウィーク前の忙しい日程にも関わらずご参加くださった皆様大変ありがとうございます。今回の反省事項を踏まえ来年度も楽しく愉快的な企画を考えますのでご参加よろしくお願いたします。

(文化厚生部 遠藤盛)



仲田総業株式会社

<http://www.nakada.tv>

専務取締役 仲田陽介 (平成3年卒)

宇都宮市築瀬町2520-4 ☎028-635-2151

(株) 安藤設計(一級建築士事務所)

<http://ando-sekkei.jp/>

代表取締役会長 安藤英夫 (昭和43年卒)

代表取締役社長 安藤寛樹 (昭和45年卒)

取締役総務部長 安藤篤史 (平成9年卒)

宇都宮市山本1-3-14 ☎028-625-2875

小林建築設計事務所(一級建築士事務所)

代表 小林 基 (昭和48年卒)

宇都宮市宝木町2-944-13 ☎028-652-1770

m-koba@moon.ucatv.ne.jp

1952年尾花善次郎創業。「ありがとうの倍返し」実践中!

尾花会計事務所

お客様紹介専用ダイヤル ☎0120-806-087

(本社) 〒322-0029 鹿沼市西茂呂3丁目19番地2

TEL 0289-62-8345 FAX 0289-62-8346

(ミニストップ鹿沼西茂呂店となり、茶色の二階建てビルが目印)

高等学校部活動

OB・OG 発足会

会長 川島 八郎 (昭和37年卒)

今私は、これまで以上に「作新学院とボクシング競技」に感謝と誇りを持って心身共に充実した生活を送っております。入学以来55年間、何らかの形で作新学院に関与し、ボクシング競技と巡り合い、ボクシングに生き甲斐を感じ半世紀以上懸命に努力することが出来たからです。また現役選手・生徒(文化部門)諸君の大会での成績にも一喜一憂しています。

このたび同窓会会長が安藤寛樹氏に引き継がれ、部活動OB・OG会の各種集まりを支援しながら部活動卒業生との連携を密にし、さらなる選手・生徒諸君の躍進を応援する同窓会活動の一環として、下記の経緯により部活動OB・OG会を発足いたしました。

1

平成24年10月16日：親睦会を立ち上げ発足に向け検討を開始。

2

高等学校各部活動の顧問の先生にお願いし、OB・OG代表2名を選出していただき名簿の作成を致しました。

3

平成24年12月1日：各部活動OB・OG会代表者と学校部活動顧問で念願の発起人会を開催致しました。

4

平成25年4月19日：第1回会議を開催し、活動方針の決定等と部活動顧問との有意義な会議を開催致しました。

5

平成25年10月11日：第2回各部活動OB・OG会代表者と部活動顧問との意見交換会を開催致しました。

*活動状況：全国大会等出場部活動への激励、全国大会等優秀成績部活・選手を表彰

*各部活動の現状：運動部37部＝代表者32名・文化部4部＝代表者8名 OB・OG会なし部活＝20部

熱く燃えた青春時代の「夢」を現役選手・生徒諸君に託すため「一致団結」しましょう。

OB・OGの皆様の参加を歓迎しております。

(有)川口写真館

代表取締役 川口 修一 (昭和44年卒)
宇都宮市北一の沢21-19 ☎028-622-4641

(有)朋友塗装工業(建築・塗装・吹付工事)

代表取締役 小野 朋之 (昭和61年卒)
宇都宮市峰3-31-30 TEL 028-634-7082
FAX 028-639-7220

作新学院 親交会

会長 荒井 祥
宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

金田商会

代表取締役 金田 真麒(昭和35年卒)
宇都宮市松原1-5-5 ☎028-622-1846

女子バスケットボール部

OG会発足

女子バスケットボール部OG会発足

代表 長尾 宏美 (平成13年卒)

この度、伝統ある女子バスケットボール部は、近年の後輩たちの活躍を私達OGが支援し、現役生との交流の場を作ろうと『己の会』(女子バスケットボール部OG会)を発足致しました。

そして、平成25年11月30日に第一回『己の会』(現役生との親善試合、親睦会)を開催致しました。現役生との試合では、学生時代を思い出し、久々に古きメンバーと汗を流し、後輩たちの力を体で感じる事が出来ました。

親睦会では同窓会会長をはじめ、恩師の方々、大変お世話になったバスの運転手さん、現役生の保護者の皆様にもご参加頂き、貴重なお話し、昔では思いも寄らない面白いお話しをお伺いすることができました。また、現役生による余興など笑いは絶えず私達らしい親睦会となりました。今回、『己の会』を発足し、作新女子バスケットボール部の素晴らしさをより一層感じることが出来ました。

今後更に、たてとよこの絆を深め、『己の会』と現役生、全員で作新学院女子バスケットボール部を盛り上げていきたいと思っております。



第1回 作新学院
女子バスケットボール部 己の会



Beams 高精細印刷 伴印刷株式会社

代表取締役 伴 清 (昭和35年卒)
 常務取締役 伴 誠 (昭和62年卒)
 生産管理部長 伴 康行 (平成7年卒)
 宇都宮市栄町6-10 ☎028-622-8901 FAX 028-622-4525

荒川歯科クリニック

理事長 荒川 敏明 (昭和48年卒)
 宇都宮市西川田本町4-1-3 ☎028-645-5072



作新経済同友会について

事務局長 三村 松司 (昭和35年・商3回卒)

同窓会員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

今回、誌上をお借りして“もう一つの同窓会”作新経済同友会をご紹介します。

作新経済同友会 = 略称 新友会 = は、平成3年、当時同窓会副会長の故和田藤吾さん (高等部1回卒) など当時の幹部会員らが、異業種の同窓会員の幅広い交流によって、同窓会の活性化を図り、なお

かつ会員相互の親睦と経済的地位の向上を目指すことを目的に発足した同窓会を母体とした任意団体です。今、全国各地でみられる異業種交流のさきがけというべきもので、事業としては、会員相互援助・研修・福利向上等を行っています。

初代会長が和田さんで、二代目は鈴木郁夫さん (高等部2回卒)。現会長は三代目で、会の立ち上げに参画した坂本 昭さん (高等部8回卒)。事務局は船田教育会館にあります。

毎月第2木曜日が例会日で、年4回弁護士・マスコミ関係者・企業人等をお招きして時事問題等について聴講しております。さらに懇親会などで会員の親睦を深めたり、新ソバの季節には、会員の“落合 功名人”によるソバ会が開かれ、本会顧問の船田 元先生も参加され、香り豊かな新ソバを手繰りながら政治談議をすることもあります。

現在会員は30代から80代まで22人 (女性2人)。新友会はこれからも、各種活動に制約がある同窓会と緊密な連携をとりながら、支援を続けると共に、本会も活発に活動していきたいと考えております。

私共の趣旨に賛同いただける方は、是非ご入会下さるようお願いいたします。

ご連絡は事務局 電話 028-621-9083 までお願いいたします。



2013.12.12 年忘れ例会にて



(総合建設業)

中村土建株式会社

代表取締役副社長 渡邊 幸雄 (平成4年卒)

宇都宮市大曾4-10-19 ☎028-622-6581

花と園芸

(株)藤野グリーンセンター

代表取締役 藤野 善勝 (昭和35年・商3回卒)

宇都宮市さつき2-3-5 ☎028-653-8660

今年成人を迎えられる卒業生

英進部

ご成人おめでとうございます。



卒業後のこの2年間、どのような生活を送っていましたか。君たちの高校生活は学業に部活動・ボランティア活動にと積極的な取り組みを見せていました。今でこそ、放課後20時までの居残り学習は制度化されましたが、君たちの積極的な学習態度がその下地を作ったのは間違いありません。また、部活動においては、硬式野球部の夏の甲子園ベスト4・軟式野球部の国体優勝・ゲートボール部やパワーリフティング部の全国大会優勝等々、各部の中心選手として大活躍をした選手が沢山いました。

そんな君たちだからこそ、期待してしまいます。これから立ち向かうだろう困難に打ち勝ち、自分の目指す目標に向けて力強く前進していくことでしょう。陰ながら応援しています。

平成23年度 英進部 第3学年主任 渡邊 毅



平成23年度卒業時の第3学年担任の先生方

手塚・吉高神司法書士事務所
司法書士 吉高神渡 (昭和45年卒)
宇都宮市小幡2-6-10 ☎028-627-0521

作新学院高等学校 P・T・A
平成24年度優良PTA文部科学大臣賞 受賞
会長 片柳二郎
宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

元気の里
(特別養護老人・ホームケアハウス)
施設長 角田充由 (平成5年卒)
宇都宮市幕田町1456-1 ☎028-655-2611

(有)坂本商店(業務用青果・漬物製造卸)
代表取締役 坂本 昭(昭和31年卒)
宇都宮市京町3-4 ☎028-633-4003
FAX 028-632-9148



平成23年度卒業時の第3学年担任の先生方

今年成人を迎えられる卒業生

総合進学部

ご成人おめでとうございます。



光陰矢の如し。皆さんが卒業されて2年がたちました。成人を迎えられた心境はいかがでしょう。皆さんが高校2年の修学旅行から帰って3日後のことでした。未曾有の災害となった東日本大震災が起きたのです。発生時は必死で校庭に避難し、やっとの思いで帰宅しましたね。その時から日本人の価値観や世の中のシステムが大きく変わりました。それぞれの人の思いとともに…。そして1年後、皆さんは作新学院を卒業し、今、それぞれの道を着実に歩まれていることと思います。

皆さんには、晴れの日ばかりでなく、雨の日もあることと思いますが、決して臆することなく、“若さ”と“あきらめない気持ち”で、様々な困難を乗り越えていただきたいと心から願っています。

平成23年度 総合進学部 第3学年主任 金田 利夫

風 見 鶏<http://www.toritei.com/>

今 泉 知 明 (昭和49年卒)

宇都宮市中央1-6-9 ☎028-633-4105

(株)本澤建築設計事務所<http://www.honzawa-net.co.jp/>

専務取締役 本澤 崇 (平成2年卒)

常務取締役 本澤 淳 (平成5年卒)

宇都宮市川田町1223-27 ☎028-645-0607

株式会社コスモ鋼業

代表取締役 遠藤 盛 (昭和58年卒)

宇都宮市西刑部町2604 ☎028-656-7330

s-endo@cosmo-kogyo.co.jp

(株)大貫商店 (紙一式)

早乙女 ヒロ子 (昭和21年卒)

宇都宮市花房2-8-20 ☎028-633-0927

今年成人を迎えられる卒業生

情報科学部

ご成人おめでとうございます。

卒業生の皆さん、成人おめでとうございます。そして、これまで支えてくれた家族の皆さんや、お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れずに、それぞれの人生を大切に歩んでください。

さて、皆さんにとって作新学院での高校3年間はいかがでしたか。さまざまな思い出が蘇ってくることでしょう。皆さんは高校2年生の3月11日6時限目の授業中に、あの巨大地震『東日本大震災』を体験しました。地震発生直後、一目散にグラウンドに避難し、全員が不安と恐怖に身を震わせながら、未曾有の出来事を現実として受け止められず、ただただ困惑していたことを思い出します。

震災から2年10ヶ月も経ちますが、被災地の復興は今もなお難航しています。成人を迎えられた皆さんは、被災地に思いを馳せ、自分に何ができるかを改めて考えることも必要ではないでしょうか。最後に、皆さんが大人としての自覚と作新学院で培った誇りを抱いて、今後活躍されることを祈念いたします。

平成23年度 情報科学部 第3学年副主任 亀井 隆



平成23年度卒業時の第3学年担任の先生方

<http://www.newitaya.com/>

加納 優 (昭和39年卒) 原田 欣明 (昭和62年卒)
 福田 吉信 (平成6年卒) 白石 希 (平成20年卒)
 宇都宮市大通り2-4-6 TEL 028-635-5511



福宮建設株式会社 (総合建設業)

専務取締役 福田 裕 (平成4年卒)
 宇都宮市鶴田1462-1 TEL 028-648-7070(代)

北都電工株式会社

代表取締役 荒井健次

常務取締役 荒井博幸 (平成2年卒)

宇都宮市上野町6076番地15 TEL 028-662-1542 FAX 028-663-4112

金箱工設株式会社

代表取締役 金箱忠司 (昭和46年卒)

宇都宮市雀宮町118-4 ☎028-653-6603
 info@kanebako.co.jp
 うつのみやCSRまちづくり貢献企業



昨年度の進路状況

大阪・東北・北海道・筑波など国公立大学に67名、慶應・早稲田・東京理科・MARCHレベル以上の私大に58名が合格!

平成24年度の卒業生1,276人の進路の内訳は、4年制大学に499人、短期大学に57人、専門学校(予備校を含む)に314人が進学し、就職・その他は406人であった。進路の割合は、大学や専門学校への進学は68.2%、就職・その他は31.8%であった。

平成25年度入試は、ここ数年の全国的な傾向である「理高文低」人気、「国公立志向」・「地元志向」・「安全志向」が継続したものとなった。大学入試センター試験では問題が難化し、中でも、国語がセンター試験開始以来、最低の平均点となったのをはじめ、数I・Aなどでも平均点が大幅に下がり、受験生にとっては厳しい状況となった。センター試験の得点が伸び悩んだ結果、国公立大学への堅実な出願や、私立大学の受験校増加を検討した受験生も多かったようである。

次に、本校の受験結果を見ると、国公立大学合格者は、67人(国立大学49人・公立大学18人)であった。主な合格大学としては、大阪大学(経済)1・東北大学(工)2・北海道大学(総合教育)1・筑波大学(理工)2・(医/看護)1・東京農工大学(農)1・千葉大学(文)2・東京学芸大学(教育)1・埼玉大学(教養)1・(教育)1・首都大学東京(都市教養)1などが挙げられる。また、地元の宇都宮大学には、教育学部6人・農学部6人・工学部4人の計16人が合格を果たした。

一方、私立大学においても807人が合格を果たし、中でも最難関といわれる慶應義塾大学2・早稲田大学5をはじめ、東京理科大学5・立教大学3・明治大学2・青山学院大学8・中央大学14・法政大学11・学習院大学2・同志社大学2・立命館大学3・関西学院大学1・津田塾大学4・東京女子大学7・日本女子大学5・芝浦工業大学9・明治学院大学6・成城大学4・國學院大学2・日本大学41・東洋大学20・駒澤大学13・専修大学10・獨協医科大学(医)1・帝京大学(医)2・愛知医科大学(医)1・東京歯科大学1・日本歯科大学5・日本大学(歯)3・(松戸歯)2・昭和大学(歯)2・東京薬科大学3・星

薬科大学1・明治薬科大学1・北里大学(薬)1などの合格者が出た。医歯薬系大学では、医学部医学科に5人、歯学部部に21人、薬学部部に13人が合格している。特に歯学部で多くの合格者を出したことが昨年度入試の特徴だった。こうした合格状況に大きな評価をいただいた結果、平成25年度には212大学から1,361名分の指定枠をいただいている。

一方、専門学校への進学では、県外専門学校への進学者が31%と前年を下回り、地元志向が顕著にあらわれた。分野別では、男子は工業系・コンピュータ系、女子は美容系・栄養調理系の希望が多かった。また、医療・看護系の希望者が年々増加傾向にあり、公立や大学付属の看護専門学校は依然として難関で狭き門であった。

就職に関しては、平成24年度の求人数は、819社(前年比266社増)であった。リーマンショック以降の不況が拭い去れない中ではあるが、アベノミクスによる経済政策などで、建設業を中心とした製造関係企業の求人が伸びた。また、今まで採用を控えていた企業も新卒者採用を積極的に行ったことも求人が増えた一因であった。また、関係機関のご支援によって今年度も合同就職面接会などを実施していただき、昨年を上回る内定を受けることができた。

学院では、就職指導に関して十分な時間と労力を注いでおり、各学年で行われたキャリアガイダンス、インターンシップによる就業体験、人事担当者および関係機関(ハローワーク、労政事務所など)による「企業が求める人材、求められる人材」などの就職講話、外部講師による「ビジネスマナー」の実施などが大いに生かされ、内定率

アップに繋がった。

平成24年度の特徴としては「コミュニケーション能力に優れた者」「意欲の旺盛な者」「基礎学力の十分な者」が特に求められる、それに応えられた生徒が希望の企業に数多く就職を果たすことができた。こうした状況によって、3月末にはほぼ100%の内定率を達成することができた。

平成24年度 卒業生進路先

部	進路	卒業生	進路先				就職・自営
			4年制大学	延べ合格者	短期大学	専門学校(含む予備校)	
英進部	男	123	96	216	1	21	2
	女	116	98	209	5	12	0
	総数	239	194	425	6	33	2
総合進学部	男	309	168	188	1	61	41
	女	199	65	75	21	64	30
	総数	508	233	263	22	125	71
情報科学部	男	290	47	51	4	89	131
	女	239	25	28	25	67	85
	総数	529	72	79	29	156	216
総計	男	722	311	455	6	171	174
	女	554	188	312	51	143	115
	総数	1,276	499	767	57	314	289



第68回 国民体育大会・スポーツ祭東京2013

弓道・水泳飛び込み・ボクシングが優勝、ほか出場選手も大活躍

硬式野球部 甲子園出場3年連続出場

運動部

国際大会成績

〈水泳競技飛び込み〉

マレーシアオープン

総合進学部2年 榎本遼香

飛板飛込 2位

第6回東アジア競技大会

総合進学部2年 榎本遼香

シンクロ高飛込 4位

3mシンクロ飛板飛込 5位 高飛込 6位



第95回全国高等学校野球選手権大会

〈硬式野球〉ベスト16

渡辺雄麻(総3) 鷹箸宏樹(総3) 田中巧馬(総2)

山下勇斗(総3) 鈴木将史(総3) 吉沢優真(総1)

中村幸一郎(総2) 小林勇介(総3) 塩沢泰世(総3)

山梨浩太(総3) 朝川広憲(総1) 江俣悠亮(情3)

添田真海(総1) 藤沼卓巳(総2) 玉川 諒(総2)

川上修吾(総2) 関口直輝(総1) 大林禎規(総3)

第68回国民体育大会 スポーツ祭東京2013成績

〈ボクシング〉県総合3位

高倉久生(総3) 森本紘斗(総3) 石川泰斗(総3)

三尾谷昂希(総1)

総合進学部3年 高倉久生……ミドル級 優勝

総合進学部3年 森本紘斗……ライト級 3位

総合進学部3年 石川泰斗……フライ級 5位

〈陸上競技〉

総合進学部1年 高内真壮……走り幅跳び 3位

〈水泳競技〉

総合進学部3年 菊池優奈……200mバタフライ 3位

400m自由形 4位

〈水泳競技飛び込み〉

総合進学部2年 榎本遼香

飛板飛込 優勝

高飛込 3位



水泳飛び込み
榎本遼香さん優勝

〈弓道競技〉

総合進学部3年 大出友里恵……遠的団体 優勝

総合進学部2年 高橋 瑠奈……遠的団体 優勝

〈自転車競技〉

総合進学部3年 坂井 洋……スプリント 3位

総合進学部3年 小松誠悟……ケイリン 8位

インターハイ・2013未来をつなぐ北部九州

〈ボクシング競技〉

学校対抗 3位

総合進学部3年

高倉久生

ミドル級 優勝



ボクシング部高倉久生
インターハイでミドル級優勝

〈自転車競技〉

学校対抗 4位

総合進学部3年

総合進学部3年

情報科学部3年

坂井 洋……スプリント 2位

小松誠悟……ケイリン 2位

福田礼佳……ケイリン 優勝

500mタイムトライアル 5位

チームスプリント 2位

小松誠悟(総3年)

坂井 洋(総3年) 小林亮太(総3年)

〈水泳競技〉

総合進学部3年 菊池優奈……400m自由形 優勝

200mバタフライ 3位

〈水泳競技飛び込み〉

学校対抗_優勝

総合進学部2年

榎本遼香……高飛込み 優勝

飛板飛込 優勝

〈バドミントン〉

総合進学部3年 長谷川琴音……ダブルス 3位

総合進学部3年 関町理紗子……ダブルス 3位

全国大会成績

〈ゲートボール〉全国ジュニアゲートボール大会

女子1部クラス 3位

渡辺妃芽夏(英3年) 靄見 怜加(英3年)

小林 理恵(英3年) 那須野南果(英2年)

戸田紗布子(英2年)

〈パワーリフティング〉

全日本高等学校パワーリフティング選手権大会

総合進学部3年 船山凜人……74kg級 3位

総合進学部3年 鈴木拓実……105kg級 4位

英進部3年 阿倍真大……59kg級 5位

総合進学部2年 小林弘平……93kg級 5位

英進部2年 花田結衣……52kg級 優勝

〈ゴルフ〉日本ジュニアゴルフ選手権

総合進学部1年 須藤啓太……個人 7位

株式会社 落合東光園 (造園・土木)

代表取締役 落合 功 [昭和37年卒]

上三川町川中子921 ☎0285-56-3751



(総合建設業)

末長建設株式会社

代表取締役 末長 修一 [昭和57年卒]

宇都宮市中央本町4-21 TEL 028-634-6675



吹奏楽部 日本管楽合奏コンテストで 最優秀賞ブレーン賞を受賞

県総合文化祭写真展にて渡邊悠課題の部で特選 組写真で阿美翔子準特選受賞

文化 部

写真部

昨年度の第34回栃木県高等学校総合文化祭写真展において、渡邊悠(総合進学部3年)の「兆し」がA部門課題作品の部の特選に、阿美翔子(同)の「見よ！我ら美少女？三人組」が同じく準特選に選ばれた。渡邊の作品は寒色と遠近法を基調とし、豊かな感受性を醸し出しています。阿美は3人の女子高生の姿を組写真で表現し、ユーモラスな作品に仕上げました。



「兆し」渡邊悠

渡邊は昨年2月の第19回関東地区高等学校写真展(茨城大会)、同じく7月の第37回全国高等学校総合文化祭(長崎大会)に出場。阿美も関東大会出場を果たしました。

今年度、1年生の入学希望者が例年以上に多く、現在17名の1年生が活動して、伸び盛りの1年生に2年生が刺激を受け、互いに切磋琢磨することを期待してやみません。

吹奏楽部

吹奏楽の甲子園といえば、普門館で開催される全日本吹奏楽コンクールが有名ですが、19回目を迎えた日



第19回 日本管楽合奏コンテストにおいての最優秀賞ブレーン賞を受賞

本管楽合奏コンテスト(11月3日・東京の文京シビックホールで開催)も吹奏楽のコンテストとしては双璧をなす権威ある大会です。吹奏楽コンクールの常連校ですら予選通過が難しいレベルの高い大会です。このコンテストは部員全員で出演が可能で、65名全員で臨みました。3月下旬から8ヶ月も練習してきた「紺碧の波濤」という難曲を美しいサウンドで見事に演奏し、聴衆を

魅了し、審査では高得点をあげ、最優秀賞・ブレーン賞を受賞することができました。お陰様で今年度の有終の美を飾ることができました。ぜひ、1度吹奏楽部の演奏会にお越しください。2014年5月31日にフレッシュグリーンコンサートを10月13日に第49回定期演奏会を開催します(いずれも宇都宮市文化会館で開催)。今後とも応援の程よろしくお祈りします。

演劇部

高校演劇では役者の演技だけではなく、舞台装置・音響・照明・衣装メイクに至るまで各スタッフ活動すべてが生徒の手によって行われます。試行錯誤を重ね膨大な時間をかけてつくった芝居が、60分という時間に凝縮されて本番の舞台で発表されるのです。そんな高校演劇の性質上、いわゆる大会は年間1回しか行われません。地区大会・県大会・ブロック大会(=関東大会)・全国大会の一本道で、途中で負け(?)たらそこで終わりとなります。毎年秋になると上位大会への狭き門をめぐって、全国各地で演劇部の大会が一斉に開催されるのです。



第35回栃木県高等学校演劇研究大会

本学院の中でも古い歴史と伝統を持つ演劇部ですが、その実績も特筆されるものがあります。過去20年間で関東大会に16回出場し、そのうち4回は全国大会に出場しています。しかも1回は全国優勝を果たし、他もすべてベスト5以内の入賞、舞台美術賞を同時受賞しています。この実績は、関東はもとより全国でも屈指のものです。今年度も廃校となった小学校を舞台に、変わり者達の葛藤を描いたファンタジー作品「相対性持論」で栃木県代表として関東大会出場権を獲得し、わずか1校の全国大会出場枠を狙います。

こう書いてしまうといかにも大会至上主義のように思われてしまいますが、実は、演劇部独自の最も大きな、そして、最も大切にしているイベントは、毎年恒例で行われている「自主公演」です。

今年度の自主公演は、2月9日(日)に宇都宮市文化会館小ホールで開催される予定です。多くの方々のご来場を心からお待ちしております。



全国学生書写書道展 席書高校大学生の部で 文部科学大臣賞受賞 高嶋英俊(英進部3年)

インテリアール **アカノ**

高野博子(昭和26年卒)

〒320-0058 宇都宮市上戸祭3丁目3の2
電話(028)643-6231代 FAX(028)624-7611

東野交通(株) (旅のことなら)

高梨義久(平成3年卒)

宇都宮市平出工業団地19-8 ☎028-660-2441

組織財政部



第1回 若手異業種交流会開催

交流会実施委員長 本澤 崇(平成2年卒)

作新学院高等学校卒業生の皆様、こんにちは。ご卒業以来いかがお過ごしですか。仕事も人生もさぞご隆盛のことと、喜ばしい限りであります。

さて、皆様は作新学院高等学校を卒業する際、同窓会に入会していただいております。しかしながら、まだ同窓会の活動や組織など認識していない卒業生も多々見受けられます。しかし、何処かで行き会うと、「作新卒？」のような挨拶は結構見受けられると思います。実際、作新学院は約11万人の卒業生を輩出しており、日本一であります。

そんな同窓会でありますので、より作新の風を吹きおこそうと、昨年6月19日、ホテル丸治で船田元学院長の出席を得て『第1回 若手異業種交流会』を約40数名で開催いたしました。

参加者の殆どが30、40代で、社会において責任世代となるメンバーが出席して頂きました。交流会の内容としては、同窓会活動を知ってい

ただくために、現在の「総務企画部」・「組織財政部」・「広報部」・「文化厚生部」・「青年部」の5部の活動報告に始まり、同窓会やこの交流会の可能性を見出すために、「将来的にはビジネスマッチング」・「同士を得たい」・「母校との絆を深めたい」・「部活動など活躍している現役生にエールを送りたい」等、参加者の考えや想いを、自己紹介を兼ねて各自コメントを頂きました。会は和やかな雰囲気でありましたが、各発言は力みなぎるものもあり有意義な時間であったと思います。

今回は初回ということもあり、手探りで開催した会ではありますが、今後も少しずつでも同窓会を周知し、様々な可能性を広げるため今後も年一回程度の開催を検討しております。その際は、今まで同窓会と関係が薄い卒業生等にお声掛けいただき、是非ともご参加くださいますよう宜しくお願いします。

同窓会組織(執行役員)

会 長	安藤 寛樹(昭和45年卒)	幹 事 長	鈴木 勲(昭和38年卒)
副会長	三村 松司(昭和35年卒)	総務企画部 部会長	小牧 英夫(昭和56年卒)
//	川口 修一(昭和44年卒)	組織財政部 部会長	櫻井 英治(昭和57年卒)
//	坂本 功樹(昭和50年卒)	広 報 部 部会長	渡邊 幸雄(平成4年卒)
//	大橋 純雄(昭和42年卒)	文化厚生部 部会長	遠藤 盛(昭和58年卒)
//	福田 勝江(昭和31年卒)	青 年 部 部会長	安藤 篤史(平成8年卒)
//	尾花 一浩(平成元年卒)		

<http://www.sakushin-ogob.gr.jp/>
E-mail:sakushin-dousokai@sakushin-ogob.gr.jp